

1 本校のキャリア教育の特色

本校では、積極的に地域社会に貢献できる力の育成や、学習意欲や知的好奇心の向上、課題発見・課題解決能力の育成を目標に探究的学習を中心としたキャリア教育を行っている。

主な取り組みとしては、1学年では地域について学ぶ「地域学習」、2学年では各自の興味・関心に基づいた探究的学習、3学年では各自の進路について探究する進路探究を行っている。また、探究的学習の一環として地域行事へ主体的に関わる活動も行い、生徒が主役となれる場を多く設けるようにしている。

2 今年度の就業体験の具体的な取り組み

(1) 就業体験実施内容

①期 日：平成 28 年 11 月 15 日（火）～ 18 日（金）4 日間

②対 象：2 学年（普通科 25 名）

③実習先：生徒の社会性や自立心を育むために、1 人 1 事業所で職場体験が実施できるよう開拓を行い、宮古島内の保育園、幼稚園、小・中学校、病院、洋菓子店等の 25 事業所で実施した。

(2) 実施計画

日 時	時間	内 容
4 月 11 日（月）	1	事前学習①（オリエンテーション・希望職種調査）
7 月 6 日（水）	1	事前学習②（第 1 回マナー講座）
7 月 13 日（水）	2	事前学習③（事業所への受入依頼の電話連絡）
9 月 14 日（水）	1	事前学習④（自己紹介書作成）
10 月 5 日（水）	2	事前学習⑤（第 2 回マナー講座・事前訪問アが取り）
10 月 25 日（火）	1	事前学習⑥（事前訪問）
11 月 16 日（火）～ 11 月 18 日（金）	24	インターンシップ実施（4 日間）
11 月 21 日（月）	1	事後学習①（お礼状作成）
12 月 7 日（水）	1	事後学習②（インターンシップレポート作成）
12 月 12 日（月） 12 月 14 日（水）	2	事後学習③（インターンシップはがき新聞作成）

(3) 事前学習、事後学習の具体的な取り組み内容

事前学習

今年度は従来の取り組みをさらに発展させ、インターンシップ期間の四日間以外でも成長できるよう、事業所開拓から生徒自身で行わせた。その準備として、宮古島内の事業所を調べさせ、希望職種を考えさせたり、那覇日経ビジネス専門学校の講師による、電話連絡のためのマナー講座を実施したりした。それらの準備を行って後、生徒各自による事業所への受入依頼を行わせた。

また、事業所先の業務内容等を調べさせて自己紹介書を作成させたことで、インターンシップへの意識が高まった。

事後学習

今年度は探究的学習との兼ね合いから、インターンシップ発表会を設けず、学年での振り返りだけを行うこととした。インターンシップ後すぐにお礼状の作成を行い、その後、日誌をまとめながら1年生に配布するインターンシップレポートをA4用紙2枚で作成させた。レポートでは、インターンシップで学んだことや四日間で感じた職種の働きがいや魅力等をまとめさせ、インターンシップを振り返らせるとともに、勤労観・職業観の育成を図った。

また、総合的な学習の時間とは別に国語表現の時間を活用してはがき新聞を作成させた。これは、レポートでまとめたこと等を簡潔にはがき1枚にまとめたものであり、生徒の振り返りや1年生へのインターンシップの様子の説明、意識づけのために掲示させ、その後事業所へ送付した。

3 今年度の就業体験の成果と課題

(1) 成果

- ・事業所開拓を生徒自身で行わせたことで、生徒の自立心やコミュニケーション能力の向上が図れた。また、例年よりもインターンシップに対しての心構えができ、事業所の業務内容を調べ、インターンシップに備える生徒も出てきた。1人1事業所での就業体験を実施することができたため、期間中も事業所の方々と積極的に関わり、様々な話を聞くことで仕事の魅力ややりがい、進路についての考えかた等を学んでいた。
- ・事後学習として発表会は行わなかったが、お礼状やレポート作成、はがき新聞作成を通して、インターンシップを振り返らせ、職場体験だけで終わらすことなく、仕事の魅力や働きがいを考えさせることができた。

(2) 課題

- ・インターンシップをより意義深いものにしようとする、どうしても事前、事後学習に時間が割かれてしまい、総学で計画している取り組みの時間が削られてしまう。今後はインターンシップを充実させながら、総学も当初計画通り実行できるよう、関連性のある教科とタイアップしてインターンシップの事前・事後学習が実施できないかなどの検討が必要である。

